

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年3月23日
明治大学の所属学部・研究科	商学部/商学科/グローバルビジネス専攻
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年3月4日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ連邦共和国
留学先大学	ジーゲン大学(日本語名) universität siegen(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語・英語/ドイツ語・英語
留学期間	2022年9月～2023年3月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):経済学部 (現地言語での名称):facultät III <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期: 2学期: 3学期: 4学期:
学生数	
創立年	

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユ-ロ)	日本円	備考
授業料	285	円	生徒証代
宿舍費	361×4,409×2	円	2023 年から値上がりした
食費	150×6	円	
図書費	0	円	
学用品費	100	円	
携帯・インターネット費	20	円	最初の 1 カ月だけ契約をして、そこからは wifi だけで暮らしていました
現地交通費	0	円	学生証があるため、公共交通機関無料(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100×6	円	
被服費	250	円	
医療費	0	円	
保険費	120×6	円	形態:barmer
渡航旅費		円	
ビザ申請費	100	円	
雑費	100×6	円	
その他		円	
その他		円	
合計	5837	約 800000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田空港 目的地:フランクフルト国際空港 経由地:	
復路 出発地:jfk 空港(ニューヨーク観光をしたため) 目的地:羽田空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:日本航空 料金: 復路 航空会社:日本航空 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:hubertusweg 82-84) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

留学先大学からの斡旋

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

人数は全体で12人くらい、駅やキャンパス(unteres schloss)まで徒歩で行けるので、交通の便は最高です。キッチンにはオープンしかなく、電子レンジがありません。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:インターネット上で詐欺に遭いました。警察、大学の留学生担当の先生、受講していた授業の享受に相談しました。)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

たびレジ、現地の日本人の友人等

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではwifi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮は大学経由でのwifiが利用できるがルーターは購入する必要がある。大学敷地内はwifi完備。中央駅やショッピングセンター、スーパーマーケット等にもwifiがある。安定して利用できる。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ビザ申請のために必要な閉鎖口座を開け、留学前にすべて生活費用を振り込んでもらった。そこから現地で普通口座を開け、閉鎖口座から普通口座に毎月一定額が送金され、生活費用に充てていた。銀行のデビットカードを使用していた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし。大体のものは手に入ります。ただ、少し高いので調味料等は持っていけるだけ持っていったらいいと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、a4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
european and international business law	ヨーロッパと国際ビジネス法
科目設置学部・研究科	faculty 3
履修期間	10月～2月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	prof. jöhn griebel
授業内容	eu 経済法や国際貿易の法律や機関について
試験・課題など	約25分の口述試験
感想を自由記入	神授業です。授業というより教授が非常に生徒思いで、留学生のことをいつも気にかけてくれます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
deutsch-zielstufeb1.1	ドイツ語 b1.1
科目設置学部・研究科	language centre
履修期間	10月～2月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面講義形式だがグループワーク、ペアワークが多い(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	ilona spies
授業内容	教科書でドイツの教育、文化等について学びながら、自国のことを紹介・ディスカッションすることもある。
試験・課題など	週一回の作文、中間・期末のリーディング・ライティング・リスニングのペーパーテストとポッドキャスト
感想を自由記入	全員がドイツ以外の国からの学生のため、それぞれの国の文化や価値観を知ることができた。話す機会が多いため、楽しく参加できた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
englisch - zielstufe b2.3		英語 目標レベル b2.3	
科目設置学部・研究科	language centre		
履修期間	10月～2月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	zoomr リアルタイム(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	aleksandra lazar		
授業内容	教科書に沿って、文化・技術・芸術等のピックについて学び、ディスカッションの機会もあった。		
試験・課題など	週一回の作文、チェックテスト、中間期末のリーディング・ライティング・リスニングテスト、口述試験		
感想を自由記入	ディスカッションの機会があり、文法や語彙も身につくため、効率的に英語力を上げることができると思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
developing professional business communication skills (b2 level)		発展ビジネスコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	faculty3		
履修期間	10月～2月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	dr. hendrik winterstein		
授業内容	ビジネスのあらゆる場面での英語を学ぶ		
試験・課題など	ポッドキャスト、ビジネス会議の劇みたいなやつ、ペーパーテスト(リスニング、リーディング、ライティング)		
感想を自由記入	ビジネスレターやコールセンター、会議等、実践的な場面での英語をロールプレイングを通じて学ぶことができる。話す機会も多く、楽しい授業です。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学中や留学後に楽になるように、3 年夏にインターンシップ等に参加することをお勧めします。留学先では時差で参加が大変です。留学中もオンライン等で就職活動をすることができます。少し大変かもしれませんが、就職活動を理由に留学を諦めてしまうのはもったいないです。ドイツでいろいろな人と会うと、就職という道が必ずしも正しいわけではないことが分かります。大学院やワーホリ等、卒業後の進路は様々あります。あまり心配せず、存分に留学を楽しんで欲しいです。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	ワクチン1回目
	4月～7月	語学試験の勉強
	8月～9月	ワクチン2回目、語学試験(英語)、出願
	10月～12月	選考、語学試験(ドイツ語)
留学開始年	1月～3月	ワクチン3回目
	4月～7月	滞在先の確保
	8月～9月	口座開設・保険契約・留学開始・オリエンテーション
	10月～12月	住民登録・ビザ申請・取得
留学/帰国年	1月～3月	留学中の試験・帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

結論から言うと、留学を通して、ドイツ、ジーゲンが大好きになりました。

ドイツ留学を志したときは、ジーゲンがいいという理由は特にありませんでしたし、むしろ、もっと大きな町に留学したいと思っていたほどでした。ただ、どうしてもドイツに留学がしたかったので、ジーゲンに決めました。

留学当初は、自分が海外で生活したことも、一人暮らしをしたこともなかったため、正直すごく辛かったです。自分が思っていた以上に英語が話せず、ドイツ語も聞き取りさえ大変なほどでした。特に 11 月は日照時間が少なかったこと、ホームシックが重なり、辛かったです。ただ、いつの間にかそんな辛い思いも消えていきました。留学生同士のオリエンテーションでは多くの行事があり、週末には簡単に州内の都市(ケルン、デュッセルドルフ等)に出かけることができます。特に留学生同士はとても仲良くなれました。クリスマスマーケットと一緒に出掛けたり、週末にカフェで少し話したり、友達の国の料理を振舞ってもらったり、ワールドカップを一緒に見たり、、本当に楽しい時間を過ごすことができました。ワールドカップといえば、日本とドイツの試合をパブリックビューイングで見ました。私は日本人一人でユニフォームを着て、ドイツ人に囲まれて応援していました。完全アウェーでしたが、日本が勝利したときは周りの人がハイタッチやハグをしてくれて、とても貴重な経験をしました。

大学の授業も非常に興味深かったです。ドイツ語の語学の授業では全員が留学生だったので、お互いの国についてディスカッションをしました。同じレベルなはずなのに、周りの学生はスピーキング力に長けていて、長けていてというか失敗を恐れず話そうとする姿に刺激を受け、自分も完璧でなくても、話そうと思えるようになれました。個人的に一番面白かった授業はeu経済法の授業です。法律を詳しく学んだことは今までなかったため、難しかったですが、euの法律は特殊で、判例もおもしろいものばかりでした。授業よりも、教授がとてもやさしく今までお会いした教授の中で一番好きな教授です。

勉強も遊びもバランスよくできた留学だったと思います。はやくドイツに戻りたいです。

留学は、海外経験がない人にとっては、はじめは辛いことも多いかもしれません。ただ、異国で暮らすとはそういうことですし、それが留学の醍醐味の一つだと思っています。留学初めは、早く帰りたいとばかり思っていたのですが、最後は本当に帰りたくなかったです。大学生は人生の夏休みだとよく言われますが、社会人になれば、このようなチャンスはあまりないと思いますし、社会人になる前に留学で見聞きしたことは生きる上での宝物になるはずです。不安も多いかと思いますが、是非チャレンジしてほしいと思います。

最後に、ドイツへの留学を強くお勧めします。ドイツ人の英語の水準は非常に高く、ドイツ語が話せなくても十分に生活できます(できるに越したことはありませんが)。観光地も多く、移動も簡単です(よく電車は遅れますが)。なにより、親切でフレンドリーな人が多いです。電車でも隣に座った他人に話しかけて仲良くなっている姿をよく見かけます。それ以外にもドイツには素晴らしいところがたくさんありますし、それを是非肌で感じてほしいと思います。